



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

地域の素晴らしさを実感できる子どもに！

自分が住んでいる地域を、私たちはどのくらい意識をしているでしょうか。大人になって振り返ると、地域やふるさとと呼ばれる場所は、その人にとって基盤となる大切な場所のように思えます。この春日市で、この春日小で育つことに誇りをもって成長していったほしいものです。

本校では、朝の立哨の方々、地域行事等を企画してくださる自治会の方々、子どもたちのためにと力を注いでくださるおやじの会の方々など、子どもたちのためにと活動してくださる人たちが大勢います。授業に関わってくださったり、行事のお手伝いをしてくださったりと様々なかかわりをしてくださいます。子どもたちには、そのことを誇りに思い、その自分の地域の素晴らしさを実感していく大人になっていくのではないのでしょうか。

来年は、117年を迎える本校です。コミュニティ・スクールとして、10年あまりが過ぎています。その本校の子どもたちを支えてくださる地域は、子どもたちの成長にとって欠くことのできない居場所です。そんな気持ちを起こさせる教育をしていきたいと改めて思っています。

子どもが地域を愛し、自分の居場所、ふるさとになる春日小校区であると思っています。

コミュニティ・スクール報告会、授業参観へ来ていただき、 ありがとうございました。

授業は、道徳(ライオンズクエスト)を行いました。

道徳は、子どもたちの心に働きかけ、これまでと違った考えや自分の考えに付加・修正するものです。ライオンズクエストとは、ライオンズクラブが主体となり、取り組んでいる味方・行い方等を見つめ直し、自ら考えていく取り組みです。

本校では、道徳の中に、その手法や考え方等を取り入れて、より実践的なものにしようとしています。授業の中で、自分だったらどうするのか、という考える場面が出てきたのではないのでしょうか。考えただけで終わるのではなく、そのことを実践にいくことが大切であると思います。

その後の報告会では、本年度のコミュニティ・スクールの取り組みについて、それぞれの担当から話しをしてもらいました。来年度に向けて、さらに充実した取り組みにしていきたいと考えています。